

〈 セミナーのご案内 〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回
覧

--	--	--	--	--

高等教育活性化シリーズ 229 (通算 547 回)

2013 年 2 月 28 日 (木)

高校から大学への接続と教育・生活サポート——

発達障害学生の入学・学修支援の実際

高等教育活性化シリーズ 230 (通算 548 回)

2013 年 3 月 1 日 (金)

大学卒業、社会参画、自立サポート——

発達障害学生の就労とキャリア支援策

高校から大学への接続と教育・生活サポート——

発達障害学生の入学・学修支援の実際

～合理的配慮のポイント／特別支援教育から高等教育へ／関係者との連携～

- ※ 発達障害学生への修学支援政策／検討会報告（第一次まとめ）を踏まえて／今後の展開
- ※ 特別支援教育から高等教育への波及／義務教育段階の全国調査／センター入試の発達障害区分
- ※ [富山大] トランジション・リエゾン支援／修学支援と心理教育的支援／社会参画支援と連携
- ※ [北里大] 学生相談室への来談経路／コミュニケーショントレーニングの実際／教職員、家族との連携
- ※ [パネル討論] 発達障害学生受入れ体制の構築と拡充～今後求められる大学のサポートと進化

● 講師陣 ●

- 松尾 泰樹 氏 / 文部科学省 高等教育局 学生・留学生課長
- 上野 一彦 氏 / (独) 大学入試センター 入学者選抜研究機構 特任教授
- 西村優紀美 氏 / (国) 富山大学 保健管理センター 准教授
- 柘植 道子 氏 / 北里大学 健康管理センター 学生相談室 室長・准教授

2013 年 2 月 28 日 (木) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

大学卒業、社会参画、自立サポート——

発達障害学生の就労とキャリア支援策

～個人々の状況に応じた修学・就労支援／トレーニング／ニーズと自立支援～

- ※ LD・ADHD・高機能自閉症の人の就労上の課題／ハード&ソフトスキル／個別移行計画の支援項目
- ※ 民間の就業力向上プログラム～狙いと内容／学生発達障害と求められるサービス／気づきの与え方
- ※ [筑波大] キャリア形成のステップと就職支援／複雑な構造のインターンシップ／学内連携の取組み
- ※ [プール学院大] 学生支援センターの役割／ユニバーサル支援へ／チーム援助会議／就労への連携・協働

● 講師陣 ●

- 梅永 雄二 氏 / (国) 宇都宮大学 教育学部 特別支援教育専攻 教授
- 鈴木 慶太 氏 / (株) Kaizen 代表取締役
文部科学省 障がいのある学生の修学支援に関する検討委員会 委員
- 五十嵐浩也 氏 / (国) 筑波大学 芸術系 教授・前キャリア支援室 室長
(独) 日本学生支援機構 障害のある学生の就業力の支援に関する調査研究専門部会 委員
- 中村 健 氏 / プール学院大学 国際文化学部子ども教育学科教授・学生支援センター長

2013 年 3 月 1 日 (金) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)



[参加要領]

日時：■高等教育活性化シリーズ
2013年2月28日(木)
■高等教育活性化シリーズ
2013年3月1日(金)

発達障害学生の入学・学修支援の実際
13:00~17:30
発達障害学生の就労とキャリア支援策
9:40~16:50

会場：剛堂会館(明治薬科大学)会議室(東京・麹町)※両日程、同会場です
千代田区紀尾井町3-27 TEL 03-3234-7362

(東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩4分、またはJR中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口より徒歩10分)

参加費	ご一名 (資料代を含む)	メディア参加 (資料及び音声CD送付)
高等教育活性化シリーズ229 発達障害学生の入学・学修支援の実際	34,000円 (消費税込)	35,000円(送料、消費税込)
高等教育活性化シリーズ230 発達障害学生の就労とキャリア支援策	41,000円 (消費税込)	30,000円(送料、消費税込) ※3講師分の音声のみ

※参加費の払い戻しは致しません。申込者のご都合が悪いときには、代理の方がご出席ください。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえFAXまたはEmailにてご送付ください。
受講証と会場地図を送付しますので必ずご確認ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 *郵便振替：00110-8-81660

口座名 (株)地域科学研究会

(ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒<http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/> E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

お申込み・お問合せ



地域科学研究会
高等教育情報センター

東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2-106
TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

2013年 月 日

■高等教育活性化シリーズ229 発達障害学生の入学・学修支援の実際

当日参加 メディア参加

■高等教育活性化シリーズ230 発達障害学生の就労とキャリア支援策

当日参加 メディア参加 (□に✓印を入れてください)

勤務先

所在地〒

連絡部課・担当者名

メールアドレス

TEL

FAX

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法(□郵便振替 □当日払い □銀行振込) 必要書類(□請求書 □見積書)

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講 義 項 目
13:00 ～ 13:40	<p>□ 発達障害学生への修学支援政策と今後の展開 ～「障がいのある学生の修学支援に関する検討会報告(第一次まとめ)」を踏まえて～ 文部科学省 松尾 泰樹</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
13:50 ～ 14:30	<p>□ 特別支援教育の展開と高等教育への波及 ～発達障害のある学生への理解と対応はどのように進むのだろうか～ 大学入試センター 上野 一彦</p> <p>1. 初等中等教育における特別支援教育の展開 2. 義務教育段階における全国調査の最新情報 3. 大学入試センターにおける発達障害区分の導入</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
14:40 ～ 15:20	<p>□ [富山大] 大学におけるトランジション・リエゾン支援 ～入学前から卒業後までのシームレス支援の実現～ 富山大学 西村優紀美</p> <p>1. 高校から大学へのシームレス支援 (1) 進路指導に必要な観点 (2) 大学受験対策 (3) 受験期を乗り切るポイント (4) 大学入学直前・直後の対応</p> <p>2. 大学における修学支援と心理教育的支援 (1) 修学支援と特性理解 (2) 合理的配慮とパーソナル支援 (3) 自己理解と自尊感情 (4) 「私の物語」から「私たちの物語」への発展</p> <p>3. 社会への参入支援 (1) 修学支援から就職活動支援への展開 (2) 専門機関との連携 (3) 今後の課題</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
15:30 ～ 16:10	<p>□ [北里大] 社会的コミュニケーションスキル支援と教職員や家族との連携の取り組み ～SST・コミュニケーションスキル養成の場／連携の在り方～ 北里大学 柘植 道子</p> <p>1. 学生相談室への来談経路と問題の扱い方 (1) アスペルガー症候群と診断された学生 (2) 疑いのみ（診断無）での来談</p> <p>2. “多くを期待しない” コミュニケーショントレーニングの実際 (1) グループ vs 個人 (2) 問題意識、行動の変容の現実</p> <p>3. 学生相談室と教職員との連携のあり方 (1) 教職員に理解を促す (2) 教職員との連携方法</p> <p>4. 家族との連携のあり方</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
16:20 ～ 17:30	<p>□ [パネル討論] 発達障害学生受入れ体制の構築と拡充 〈司会〉 西村優紀美 氏／上野 一彦 氏／柘植 道子 氏</p>

時間	講義項目
9:40) 11:00	<p>□ 発達障害者の生活支援、就労支援の実際と施策活用 ～成人期の自立、就労に向けた支援の実際／支援への誘導と大学・各機関連携～ 宇都宮大学 梅永 雄二</p> <p>1. 発達障害者の就労上の課題 (1) 読みと書きができない場合 (多くのLDの人) (2) 注意に問題がある場合 (多くのADHDの人) (3) コミュニケーションに問題がある場合 (多くのアスペルガー症候群・高機能自閉症の人)</p> <p>2. ハードスキルとソフトスキル (1) ハードスキルとは (2) ソフトスキルとは</p> <p>3. 発達障害者の学生生活・日常生活上の課題 (1) 米国におけるITP(個別移行計画の支援項目) (2) ソーシャルスキルの課題 (3) ライフスキル (4) ライフスキルチェックリスト 〈質疑応答〉</p>
11:10) 12:40	<p>□ 民間における発達障害学生の就業力向上プログラム ～気づきの与え方と集団での就業トレーニングの狙い・内容～ Kaien 鈴木 慶太</p> <p>1. 発達障害の定義～学生における特徴 (1) 発達障害全体の定義 (2) 幼児から高校生までの発達障害の特性の出方 (3) 大学生における発達障害の特性の出方 (4) 職場での発達障害の特性の出方</p> <p>2. 当社の既存プログラム (1) 大人向け (概ね大学卒) の就業トレーニング (2) 子ども向け (概ね高校生まで) の支援プログラム (3) 大学生に求められるサービス (当社調査から)</p> <p>3. Kaien 流 学生支援プログラムの展開 (1) プログラムの狙いと内容 (2) 今後の課題と展開 〈質疑応答〉</p>
13:40) 15:10	<p>□ [筑波大] 発達障害学生の就労・キャリア支援の実際と展開～今後の就労支援にむけて ～キャリア形成のステップ／インターンシップ／学内連携～ 筑波大学 五十嵐浩也</p> <p>1. キャリア形成とは (1) その目的 (2) 方法 (筑波大学の場合)</p> <p>2. インターンシップ (1) 実は複雑な構造を有しているインターンシップ (2) バリアフリーを目指して</p> <p>3. 学内連携 (1) カリキュラム内における取り組み (2) カリキュラム外における取り組み 〈質疑応答〉</p>
15:20) 16:50	<p>□ [プール学院大] ユニバーサルデザインに根ざした発達障害学生への就労支援の実際 ～入学前から卒業後をつなぐ支援／「特別な支援」から「ユニバーサル支援」へ～ プール学院大学 中村 健</p> <p>1. 学生支援センターの役割 (1) 全ての学生への修学支援における発達障害学生支援 (2) 学生支援ネットワークの構築と展開 (3) 就労に向けた援助資源の開発とコーディネート (4) 高等教育における心理教育的援助サービス</p> <p>2. チーム援助会議のねらい (1) 情報の共有 (支援ニーズの見極めとリソース探し) (2) 行動の連携 (個別の支援計画と具体的支援の構築)</p> <p>3. 就労に向けた学外との連携活動 (1) 高校等や保護者との連携・協働 (入学前から卒業後まで) (2) 学外実習校・機関との連携・協働 (教育実習・インターンシップ等の実施に際して) 〈質疑応答〉</p>